

総代会に関する事項

総代会の仕組み

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を議決する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動やホームページ等を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

総代候補者選考基準

(1) 資格要件

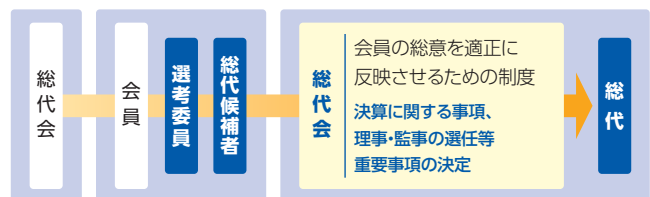
当金庫の会員であること

(2) 適格要件

- ① 地域における信頼が厚く、総代として相応しい人であること
- ② 金庫の理念をよく理解し、金庫との取引や経営内容も良好であること
- ③ 地域の情報に通じ、金庫の業務運営に協力的であること
- ④ 良識を持って正しい判断のできる人であること
- ⑤ 就任時の満年齢が80歳を超えない者であること
- ⑥ その他総代選考委員が適格と認めた者

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です

- ① 総代会の議決に基づき理事長が選考委員を委嘱し、選考委員の氏名を店頭に掲示
- ② 選考基準に基づき総代候補者を選考
- ③ 理事長は、総代候補者の氏名を店頭に掲示し、所定の手続きを経て、会員の代表として総代を委嘱



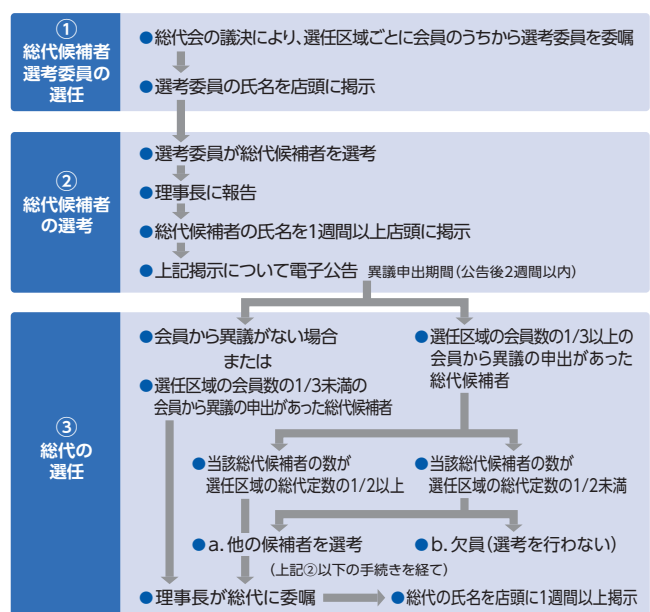
総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ① 総代の任期は3年です。
- ② 総代の定数は定款に定める範囲内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められています。
なお、2025年6月1日現在の総代数は、149人です。

(2) 総代の選任方法

総代が選任されるまでの手続きについて



総代会に関する事項

第106期通常総代会の決議事項

第106期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれの原案の通り了承されました。

(1) 決議承認事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款第15条に基づく出資会員除名の件
- 第3号議案 定款一部変更の件
- 第4号議案 理事21名選任の件
- 第5号議案 監事3名選任の件
- 第6号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件

(2) 報告事項

- ①第106期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- ②2025年度事業方針説明の件

総代の氏名

(2025年6月1日現在)

選任区	選任区域	定員	氏名							
第1区	港区、大正区、浪速区、天王寺区、東成区、生野区	16	生田 啓司① 真田 敦史① 藤本 幸男②	池上 利治④ 澤井 勝⑤ 松田 浅三②	池島 照幸① 田中 俊次③ 宮前 博一①	金澤 規勝② 西上 雅章⑤ 山川 正二②	栞野 昇一④ 福家 通和⑤ 和田 拓也②			
第2区	住之江区、西成区、阿倍野区、東住吉区、住吉区	13	池元 真吾③ 田村 毅⑤ 東辻 実③	井東 博子② 西村源一郎② 松田 敦嗣⑧	氏田 耕吉⑤ 橋詰 友二⑤ 矢野 勇治①	鴻原 森蔵⑤ 馬場 雅樹④	後藤 清③ 浜野 廣美④			
第3区	西区、中央区、都島区、旭区、城東区、鶴見区、守口市	18	伊藤 龍二⑤ 田中 富之④ 中田 吉彦① 松井侯乃輔④	桶谷 正廣⑧ 谷本 哲哉⑤ 中村 信男⑧ 宮地 秀和③	北野 吉治④ 直居美恵子① 林 壽彦① 村上 裕宣④	庄司 真之⑤ 中井 誠治① 林 陽二郎⑧	田中 敏明① 長尾 幸祐⑤ 福井 昌勝⑥			
第4区	平野区、松原市、東大阪市、八尾市、藤井寺市、柏原市、太子町、河南町	18	奥山 泰彦② 田中 達雄⑥ 八野 博之① 宮副 洋②	川島 一志① 坪内 敏剛③ 藤井 巡造② 柳原 彰①	清水 宏祐⑧ 寺尾 勇⑤ 藤田 賢一① 山本 良継⑤	白土 滋⑧ 中西 英二⑤ 丸橋 憲士②	竹内 成介⑧ 中村 喜英③ 南野 隆彦①			
第5区	西淀川区、此花区、淀川区、福島区、北区、東淀川区、伊丹市、尼崎市、池田市、箕面市、豊中市、吹田市、茨木市、摂津市、高槻市、門真市、寝屋川市、大東市、枚方市、交野市、四條畷市、豊能町、能勢町、島本町	22	石瀬 浩三⑧ 片岡 洋一④ 佐々木正文① 原田 豊⑧ 山本 素之①	岩祖豊太郎⑧ 片桐 敬雄⑤ 高梨 憲春③ 福本 桂太③ 吉岡 友行③	岩本 哲郎① 木下 順⑤ 田村 耕作⑤ 三浦 和良③	宇野 泰明① 熊本 博⑧ 中村 勝⑧ 村田 治彦⑤	大下昇三郎⑤ 小泉めぐみ③ 原 千馬② 安本 亮一③			
第6区	堺市、千早赤阪村	25	今徳 信夫⑤ 川嶋 淳史③ 工藤 俊郎① 栃尾 憲二① 花澤 良隆④	岩田 修一③ 河村 厚男⑦ 國井 豊⑦ 中谷 好和⑦ 日野 雅生④	梅川 昌彦③ 北野 直子① 蔵田 博④ 成瀬 清伸③ 三上 尚嘉⑦	奥野 光計⑤ 北村 讓⑧ 田島 哲康④ 西田 泰庸③ 溝端 恵一⑦	金子 種明③ 木村 浩嗣③ 田中 政義④ 野口 一⑧ 吉田 勘哉⑤			
第7区	高石市、泉大津市、和泉市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、河内長野市、忠岡町、岸和田市	24	飯坂 清② 奥 吉治⑦ 川上 隆④ 畑野 恒和② 村上 昭二⑥	井谷 公蔵⑤ 片渕 昭人⑦ 川上 裕③ 平野 讓⑥ 森山伸一郎③	今井 剛志② 片山 英和⑦ 川崎 三憲⑦ 藤井 清和② 山内 和彦⑦	奥 忠道⑦ 亀井 一② 當眞 嗣昭⑧ 堀川 昇⑦ 勇野 耕二③	奥 藤喜雄⑦ 河 宗啓② 西端 文雄② 宮崎 吉二⑧			
第8区	貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、和歌山県紀の川市《除く貴志川町、旧那賀町》、和歌山県岩出市	14	井田 圭一② 坂口修一郎⑦ 平松 慶信②	出原 達也⑦ 西浦 孝彰② 水本 修一④	岩本 功① 西坂 栄一⑥ 山口 義幸⑥	浦川 隆志⑦ 西田 隆治⑦ 大和谷 進⑥	金子 健一③ 野口 眞弘③			

※氏名の後の数字は総代の就任回数です。就任回数は、旧南大阪信用金庫との合併後(2004年10月)で計算しています。

総代の属性別構成比

職業別	法人役員96.7%、個人事業主2.0%、個人1.3%
年代別	70代以上 49.4%、60代 25.3%、50代 23.3%、40代 2.0%
業種別	製造業29.4%、卸売業14.0%、サービス業16.7%、建設業16.7%、不動産業・物品賃貸業11.3%、小売業5.3%、運輸業4.0%、飲食業1.3%、その他1.3%